

海洋情報フォーラム

～海洋情報の更なる利活用の可能性を探る～

平成25年 **2月25日**【月】 15:00～18:10

日本財団ビル 大会議室
(東京都港区赤坂1丁目2番2号)

海洋再生可能エネルギーの利用、海洋資源の開発、海運・漁業・レジャーの安全確保、環境・生態系の保全等の様々な分野の海域利用を効果的に進める上で、海底地形、海流、水温等の各種海洋情報の充実や利活用が不可欠です。

本フォーラムでは、海洋の開発・利用・保全の促進に向けた海洋情報のニーズや、更なる利活用の可能性について議論を深めてまいります。

参加費
無料
(事前登録制)

定員
200名

主催：国土交通省 後援：総合海洋政策本部、文部科学省、水産庁

協力：(独)海洋研究開発機構、海洋政策研究財団、(一社)海洋産業研究会、(一社)海洋調査協会、
(一財)日本水路協会、日本海洋政策学会、日本沿岸域学会

【15:00～15:10】開会挨拶(国土交通省)

【15:10～15:50】**海洋情報に関する取組の現状**

- ①政府全体の取組について (内閣官房総合海洋政策本部事務局)
- ②海上保安庁の取組について (海上保安庁海洋情報部)
- ③産業界、地方公共団体における海洋情報の活用実態等について
(国土交通省委託調査報告：中原 裕幸 (一社)海洋産業研究会 常務理事)

【15:50～16:00】 休 憩

【16:00～18:10】**パネルディスカッション** (コーディネーター 谷 伸 海上保安庁 海洋情報部長)

第I部 海洋の開発・利用・保全の促進に向けた海洋情報の更なる活用

パネリスト 今村 遼平	(一社)海洋調査協会 常任理事
織田 洋一	(株)三井物産戦略研究所 新事業開発部シニア・プロジェクト・マネージャー
平 朝彦	(独)海洋研究開発機構 理事長
為石 日出生	(社)漁業情報サービスセンター 専務理事
山形 俊男	(独)海洋研究開発機構 上席研究員、東京大学名誉教授

第II部 海洋情報を活用した新産業創出の可能性

パネリスト 伊藤 友孝	(一財)日本水路協会 常務理事
岩佐 秀徳	(株)ウェザーニューズ 取締役
平 朝彦	(独)海洋研究開発機構 理事長
濱本 両太	ESRIジャパン(株) コンサルティングサービスグループ部長 兼 データソリューション推進グループ部長
山形 俊男	(独)海洋研究開発機構 上席研究員、東京大学名誉教授
山野 澄雄	(株)フグロジャパン 代表取締役社長

【18:10】閉会挨拶(海上保安庁)

※交流会 日本財団ビル 第1～第4会議室(フォーラム終了後～20:00)
会費制：2,000円

○申し込み方法 裏面をご覧ください

○お問い合わせ TEL 03-5253-8266 国土交通省 総合政策局 海洋政策課 (担当：早川)
TEL 03-5500-7130 海上保安庁 海洋情報部 海洋情報課 (担当：林王)